

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	医療法人社団 きだ整形外科クリニック	代表者	木田泰弘	法人・ 事業所 の特徴	住み慣れた地域の中で自宅での自ららしい生活が送れるよう、心身の状況や置かれている環境等を踏まえ「通い」「訪問」「泊り」のサービスを組み合わせながら支援をしています。在宅での生活を維持するために利用者や家族の「小さな困りごと」に着目しながら支援させていただいています。手をだしすぎることがないよう利用者一人一人のできること、持っている力を大切にし、利用者自らが様々な場面で力を発揮できるような環境づくりを行っています。通いの定員が9名と少人数であるため常にアットホームな雰囲気があり、人見知りしやすい方もなじみやすく安心して過ごせる空間になっています。
事業所名	ケアミックスひまわり	管理者	表 淳一		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	人	3人	人	人	1人	人	3人	人	7人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	スタッフ間での意識が共有できるようSOAP形式の記録を継続し、特にAの項目の記載は必ず行う。	記録(SOAP)の「A」の部分の記載についてまだ十分に記載出来てない。利用者さんの思いに関する部分が十分に言語化出来ていない。	正直に書いてあるのでは? なぜ出来ていないかを考察出来ていないので 自分たちが評価しやすい具体的な計画を入れると評価しやすい。	3ヶ月に一度ミーティングにて改善計画に対する再確認(中間評価)を行う。
B. 事業所のしつらえ・環境	来訪者を気持ちよく迎えられるよう、玄関の窓ふきや掃除を毎日行う。 玄関前に置いてある古い傘立てを新調する。	玄関の傘立ては新調した。 毎朝玄関の掃除、窓ふきを行っている。	窓ふきや掃除は仕事と思うから出来るのかも。毎日行う事は素晴らしい。 建物の古さは感じない 壁紙が掲示しており工夫が出来ている。	玄関の窓ふき、掃除は継続して行う。 玄関のプランターに花を植える
C. 事業所と地域のかかわり	半年に一度行っている事業所内での体力測定開催時期を町内の方にお知らせする。	運営推進会議でのアナウンスや事業所玄関でのお知らせの張り出し等するも十分に伝わりきれなかった。 回覧板を回して頂けるようになり、行事の情報の収集や参加につながった。	体力測定のお知らせはしているのですね。町内的人に知らせるとなると、ここだけのチラシだとわからない。公民館にチラシを配ったらどうか?	体力測定等、地域の方にも参加して頂けるような行事は、公民館にチラシを配りお知らせする。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	現在作成しているエコマップの中に、2つ以上のつながりが追加できるよう情報収集する。 エコマップに情報を追加した日付を記入する。	取り組みは継続して行っている。馴染みの場所や通っているところなど新たに把握できたところもあるが、地域の人とのつながりなど把握できていない部分が多い。	深刻な相談に限らず、気軽に相談出来る事業所になればいいですね。 エコマップを今後も作っていくなら、具体案を出さないといけないのでは。	継続してエコマップにつながりを2つ以上追記できるよう情報収集する。 本人とのやり取りだけでなく送迎時等に家族とも話し情報収集に努める。 介護計画書更新時は必ず再確認する
E. 運営推進会議を活かした取組み	半年に一度行っている事業所内での体力測定開催時期を町内の方にお知らせする。	運営推進会議でのアナウンスや事業所玄関でのお知らせの張り出し等するも十分に伝わりきれなかった。	把握しないといけない人に関しては今後も話し合っていかなければいいのでは。 民生委員、町会では対応できない事案が出てくる。こういう所に相談できれば開けてくるのでは。	体力測定等、地域の方にも参加して頂けるような行事は、公民館にチラシを配りお知らせする。現場スタッフも会議に参加し意見を述べる。(スタッフ参加できるよう勤務調整する)
F. 事業所の防災・災害対策	備蓄品の管理、補充等は継続して確認し、全スタッフで周知する。 地域の防災訓練に参加する。	備蓄品、非常食の賞味期限は確認し、管理出来ている。 地域の防災訓練に参加をした。	備蓄品を確保しているのですね。大成町の公民館は準備していない。ヘルメットやロープはあるが、非常食は市に頼っているのが現状です。 お寺での水害訓練に参加してもらった	備蓄品の管理、補充は継続して確認を行っていく。 地域の防災訓練にスタッフも参加する様調整を行う。